

平成24年度 実施計画作成・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	建設部	課等名	下水道課	記入者名	松元 高志	内線	409
事務事業名	受益者負担金収納事務（負担金管理システムの整備）		事業期間	平成 25 年度～平成 25 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	豊かな緑ときれいな水を未来に引き継ぐまちづくり					
	施策	下水道等の整備、生活排水処理対策の推進					
	細施策	管理運営の充実					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市公共下水道事業受益者負担金条例、出水市公共下水道事業受益者負担金条例施行規則、出水市公共下水道排水区域外からの使用取扱要綱、出水市特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業受益者分担金条例、出水市特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業受益者分担金条例施行規則						
予算細目名	会計	款	項	目	細目		
下水道特別会計 受益者負担金収納事務費	08	02	02	03	001		
特定環境保全公共下水道特別会計 受益者分担金収納事務費	09	01	01	02	001		

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

公共下水道（出水処理区）は、昭和62年から供用を開始しており、供用開始された土地に対し、1㎡あたり500円の受益者負担金が受益者（土地所有者、管理者等）に賦課される。そのため、計画処理面積1,052ha（整備済み面積：986.3ha）を地番ごとに、受益者、受益地、負担金賦課・猶予・減免等の有無、収納・滞納等の履歴管理、申告書・決定通知・納付書の発行等をする必要があり、平成11年から負担金管理システムを導入している。

特定環境保全公共下水道（高尾野処理区 計画処理面積441ha〈整備済み面積：408ha〉）は、平成12年から供用を開始しており、供用開始された土地に取付管1本の設置に対し、10万円の受益者分担金が受益者に賦課され、供用開始時からシステム化しており、平成18年の市町合併時にシステム統合されている。

現行のハード機器について、メーカーの部品供給が停止の理由から保守契約の更新ができず、平成24年1月からハード機器の保守を結ばずに運用している。また、ソフト保守契約については、平成26年3月末までとなっている。

ハード機器は、老朽化に伴う不具合が既に見られており、平成24年度にソフトを含めたシステム更新についてソフト保守業者と協議したところ、契約変更はできないとの申し出があり、保守契約の終了を待ち早急に更新する必要がある。

3 事務事業の概要

H25年度の事業計画	H26年度の事業計画	H27年度以降の事業計画
○受益者負担金システムの更新 追加機能 ・負担金の賦課、猶予状況等の情報を地籍図、住宅地図及び航空写真上で色塗りによる表示。 ・催告状、催告納付書、督促状、督促納付書、分納納付書、納入通知書の発行 ・納付及び滞納情報の統計処理 ・滞納管理簿（交渉履歴）等 ○受益者負担金管理システムの保守	○受益者負担金管理システムの保守 ・ソフト、ハード機器の保守	○受益者負担金管理システムの保守 ・ソフト、ハード機器の保守

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
受益者負担金管理システム	システムの更新
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
市民等の要望・問い合わせ等の迅速な対応、業務の軽減・効率化を図る。	

1 指標の推移

区分	指標名	単位	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	27年度目標	最終目標	
								年度	目標値
活動指標	① 計画面積（公共下水道）	ha	1052	1052	1052	1052	1052		
	② 賦課面積（公共下水道）	ha	617	618	619	620	621		
成果指標	① 負担金徴収率	%	86.43%	87.92%	91%	93%	95%		
	②								

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値（ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など）

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値（ボランティア実施者数、渋滞緩和率など）

2 事務事業の目的

緊急性	いつまでに実施しなければならないのですか	
	平成 25 年度まで	理由 ハード機器は、平成24年1月より、保守契約がされておらず、老朽化に伴う不具合の兆候が既に発生しており、早急に更新する必要がある。
妥当性	意図は妥当ですか（「4 事務事業の対象・手段・意図」欄の意図について）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 出水・高尾野合わせて1,493haの地番ごとの管理は、システムなしでの業務遂行は困難である。
効率性	既存事業の拡大では対応できないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 既存事業はない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	理由 本事業には該当しない。
その他	他の市町村では、実施している事業ですか	
	下水道負担金制度を実施している県内11市（本市含む）全て負担金管理システムを導入している。	

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	市民への迅速な対応や賦課・徴収事務の効率性を図るために、早急な整備が必要である。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	事業内容等を精査して必要最低限の内容で、財政事情等を考慮して実施する。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	事務の効率化を図るため、GIS機能等を付加した内容で実施する。